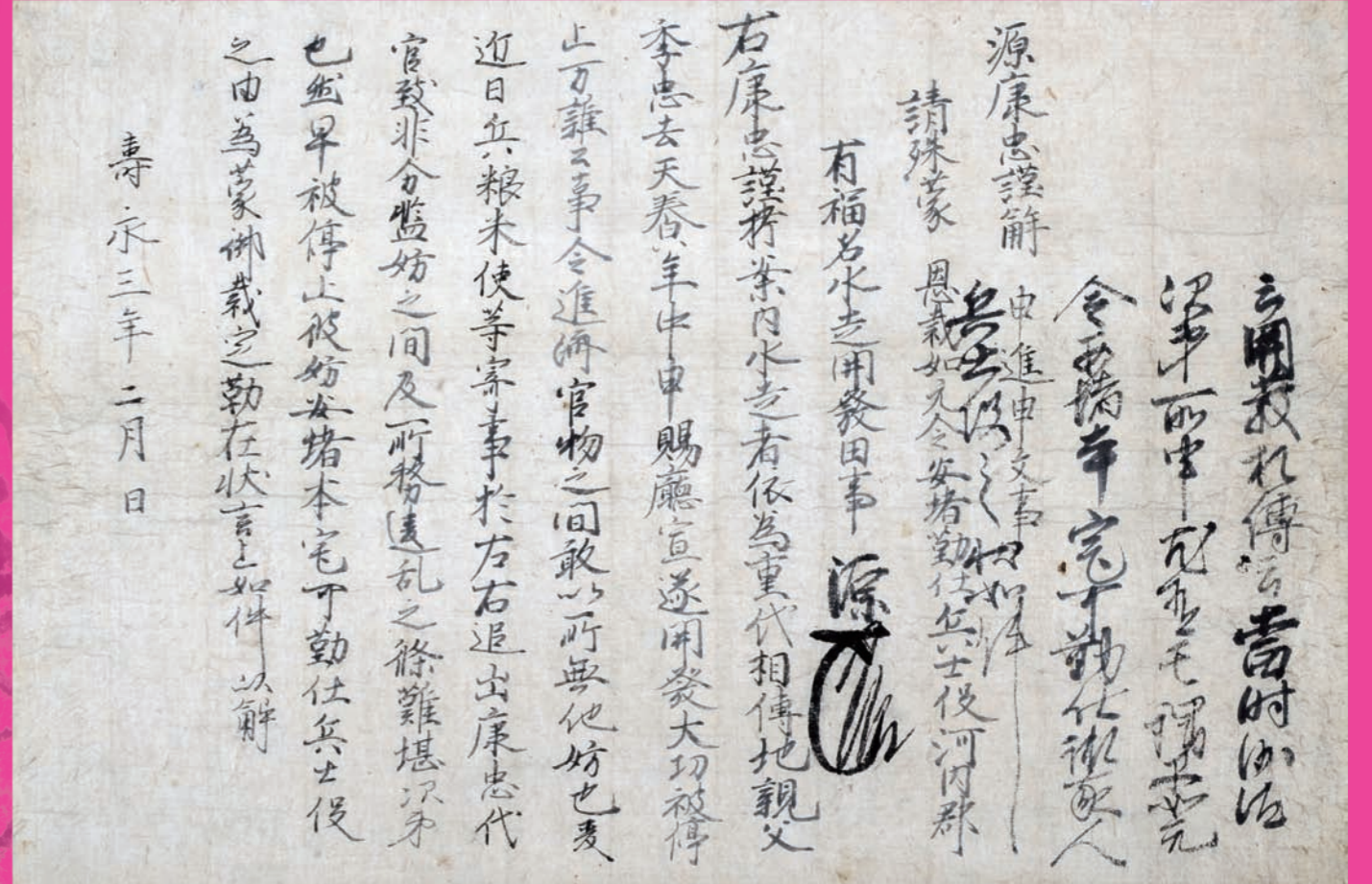


2013
10月5日(土)→
→12月1日(日)

http://ch.kanagawa-museum.jp/

—鎌倉ゆかりの中世文書—

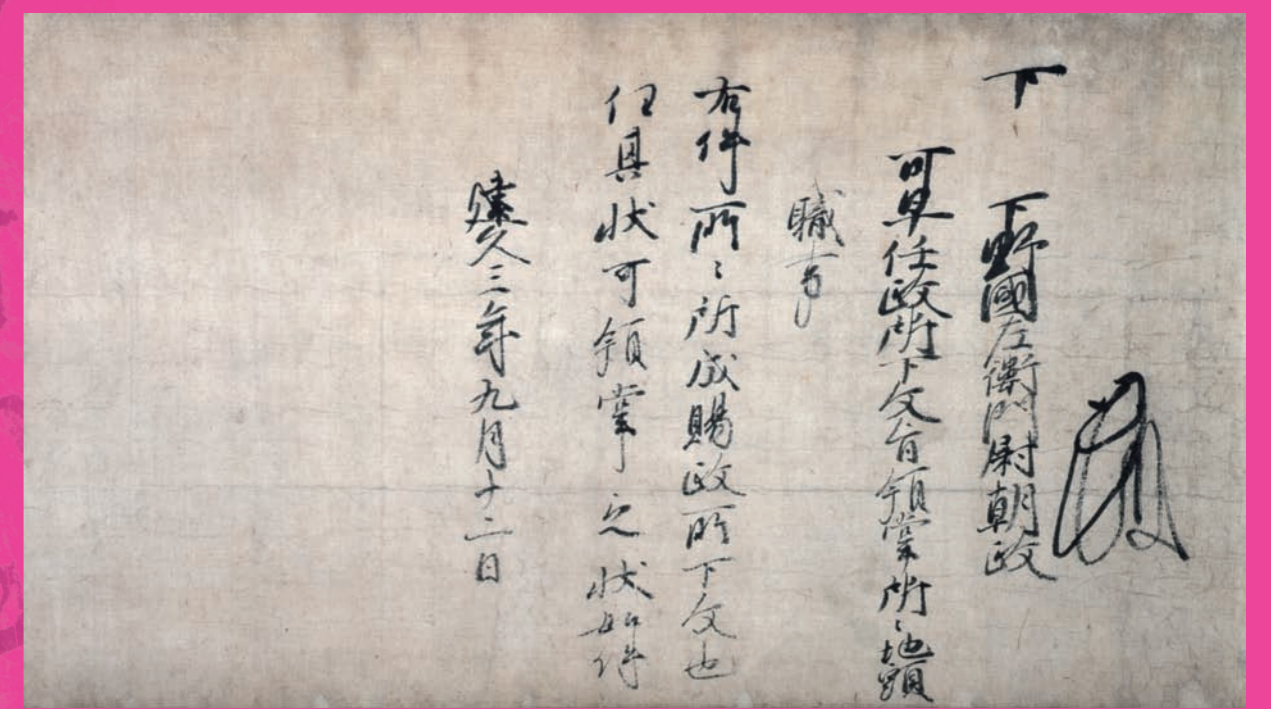
いっしょに かんざり



源義経外題安堵源康忠解 平安時代 (東京) 個人蔵

本展では武家文化発祥の地である鎌倉を中心とする東国社会が生み出した古文書を一堂に展示いたします。日本では古くから多くの文書が作られ、大切に伝えられてきました。古文書は歴史を雄弁に物語ってくれるものですが、読みづらく難解であるという印象があるため敬遠されてしまいがちです。実際には中世の文書は一定の様式を踏まえていて、それを知ることによって文書をいっそう楽しむことができるようになります。また、文書はそこに書かれてある内容も重要ですが、料紙や墨色、筆跡といった文書そのものが持つ雰囲気も時代を知るには大切な要素です。

本展示では「もの」としての古文書に焦点を当て、中世の文書を見直してみたいと思います。日ごろ目にする機会の少ない源頼朝、源義経、足利尊氏をはじめとする有名武将の文書や、寺社に秘蔵されてきた珍しい古文書をご覧頂き、中世文書の楽しさ、美しさをご堪能ください。きっと新鮮な驚きがあるはずです。



県指定文化財 源頼朝袖判下文 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館蔵

【開館時間】 午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
 【休館日】 毎週月曜日(10月14日・11月4日は開館)
 ※11月5日(火)は展示替え作業のため観覧できません。常設展は観覧できます。
 【観覧料】 一般900円(800円)、20歳未満・学生600円(500円)
 65歳以上・高校生100円(100円)
 中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方は無料
 ()は20名以上の団体の場合
 【交通】 みなとみらい線「馬車道駅」から徒歩1分
 横浜市営地下鉄「関内駅」から徒歩5分
 JR根岸線「桜木町駅」・「関内駅」からいずれも徒歩8分
 〒231-0006 横浜市中央区南仲通 5-60
 TEL: 045-201-0926 FAX: 045-201-7364

【主催】 神奈川県立歴史博物館
 【共催】 神奈川県立金沢文庫
 【後援】 神奈川新聞社・朝日新聞横浜総局・毎日新聞横浜支局
 読売新聞東京本社横浜支局・産経新聞横浜総局・東京新聞横浜支局
 日本経済新聞横浜支局・NHK横浜放送局・+vkk(テレビ神奈川)



こもんじょざんまい

— 鎌倉ゆかりの中世文書 —

こもんじょ鑑賞のススメ

■ 展示構成 ■

序. 古文書のかたち

文書には様々な様式があり、その様式を知ることとは文書を楽しむ第一歩です。プロローグとして様々な種類の文書様式を紹介します。

1. 花押と墨色

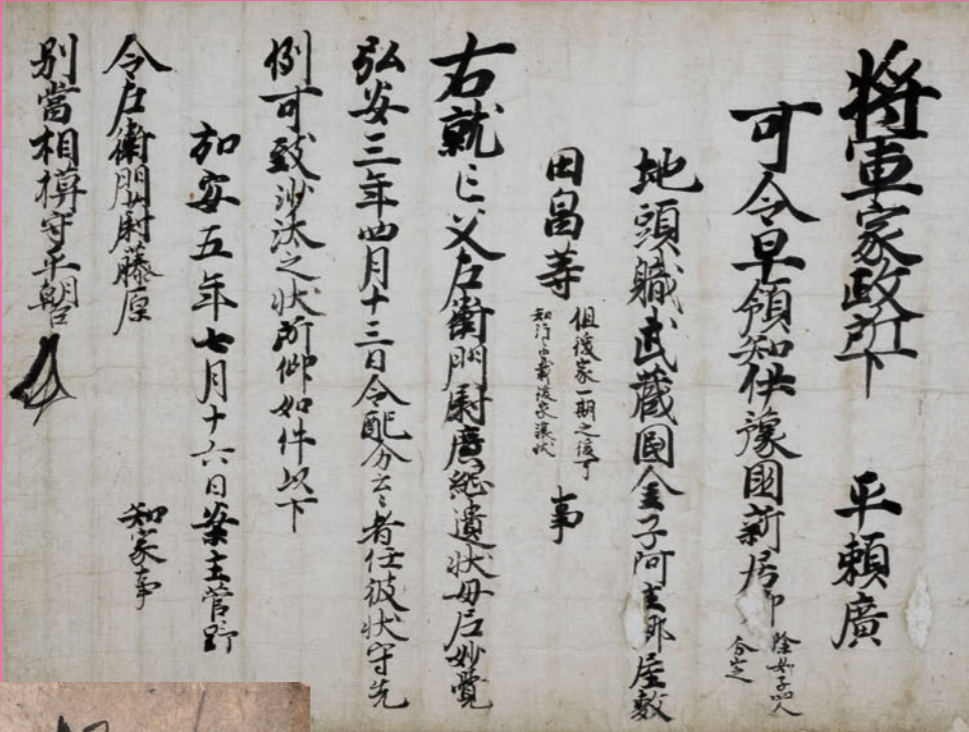
源頼朝や足利尊氏といったビッグネームの文書を例にとり、花押や墨色の違い、時代や書き手に特有な書風などを味わいます。

2. 権利と伝来

文書の多くは権利の付与に際して作成されています。所領や権利に対する当時の人々の執着を最もよく現しているのが文書です。数百年にわたってこのような文書が大切に伝えられてきたのも文書主義の伝統を裏付けています。

3. 墨跡と置文

高僧等が後世に残す墨跡や置文は、内容もさることながら書そのものが人そのものとして崇められている点に特徴があります。この他にも崇敬の対象となった文書を考えてみます。



県指定文化財 將軍家政所下文 鎌倉時代 (埼玉) 個人蔵

4. 料紙の妙味

文書の持つ雰囲気は用いられている紙(料紙)にも大きく依存しています。近年紙に対する研究が進み、多くのことが分かってきました。ここでは、文書の素材である紙について取り上げます。

5. 紙背文書と胎内文書

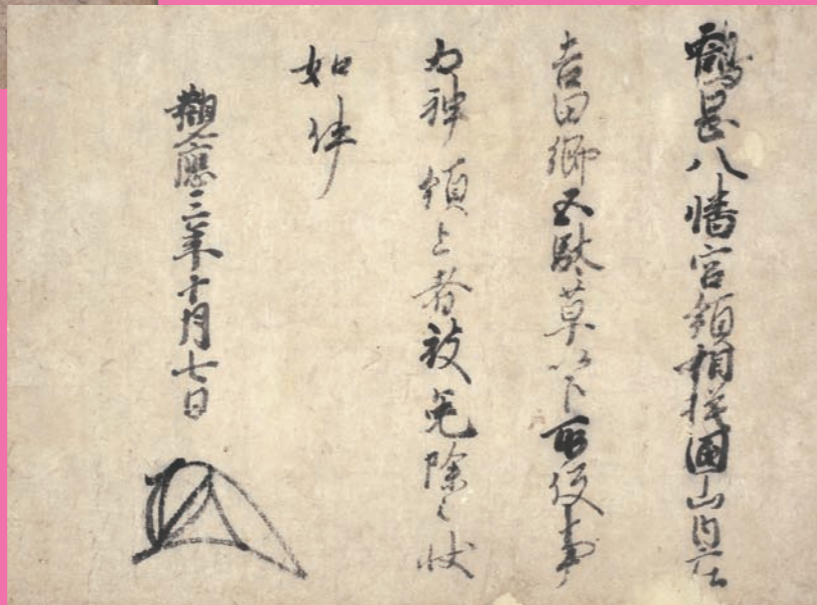
反古となった文書が二次利用された結果残される紙背文書や、仏像の胎内に籠められた胎内文書は後世に見られることを想定しないで残された稀有な古文書です。このような文書は当時の出来事を意外な形で伝えてくれます。

6. かな文書の世界

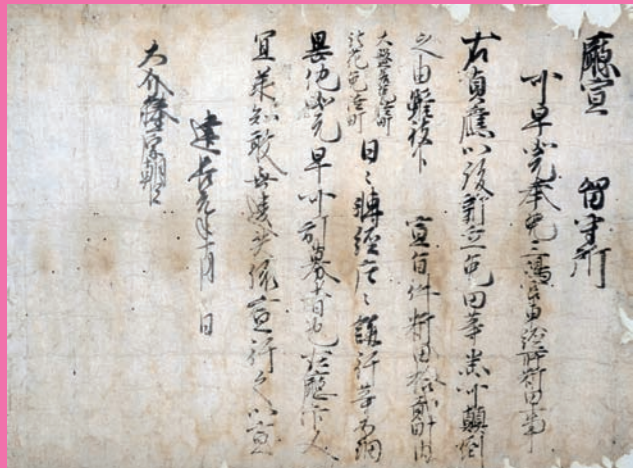
文書にはかな書きのものも多数伝わります。かな文書は女性が書いたものばかりではなく、様々な場面で作成されています。文書の世界から声の世界へと広がる史料について考えます。

※会期中展示替があります。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

国重要文化財 後醍醐天皇給旨 鎌倉時代 (鎌倉) 覚園寺蔵



市指定文化財 足利尊氏御判御教書 南北朝時代 鎌倉市蔵



国重要文化財 伊豆国司宣 鎌倉時代 (静岡) 三嶋大社蔵

【特別展記念講演会】事前申込制 (申込多数の場合は抽選)

「奥深くてももしろい古文書」

- ①11月3日(日・祝) 永村 真氏 神奈川県立金沢文庫文庫長
 - ②11月23日(土・祝) 横山謙次氏 元宮内庁修補室修補師長
- 時間：14時～16時 / 会場：当館講堂 / 定員：1回につき70名
受講料：無料 (ただし特別観覧券が必要。①は観覧料無料のため不要)
申込締切：①10月20日(日) 必着 ②11月9日(土) 必着

【県博セミナー 連続講座全5回】事前申込制 (申込多数の場合は抽選) 「鎌倉をとりまく中世文書の世界」

- ①「古文書を鑑賞すること」 10月19日(土) 古川元也 当館主任学芸員
- ②「鎌倉の中世文書」 10月26日(土) 高橋典幸氏 東京大学大学院人文社会系研究科准教授
- ③「武家文書の世界」 11月2日(土) 永井 晋 当館専門学芸員
- ④「金沢文庫の書状と聖教」 11月9日(土) 福島金治氏 愛知学院大学文学部教授
- ⑤「戦国大名北条氏とその文書」 11月16日(土) 鳥居和郎 当館専門員

時間：14時～16時 / 会場：当館講堂 / 定員：70名
受講料：有料(1回1000円) / 申込締切：10月5日(土) 必着
※1回ごとの申込みも受付致しますが、連続講座のため、全5回お申し込みの方を優先します。

【特別展開演行事】事前申込制 (申込多数の場合は抽選)

「植物から紙をつくるーみっちり紙漉きを体験しようー」
10月20日(日)
講師：田村正氏 紙漉工房経営
時間：10時～16時30分 / 会場：当館講堂 / 定員：12名
教材費実費：1000円 / 申込締切：10月6日(日) 必着
※1日かけて木から紙を作り出します。大人向けの講座です。

【現地見学会】事前申込制 (申込多数の場合は抽選)

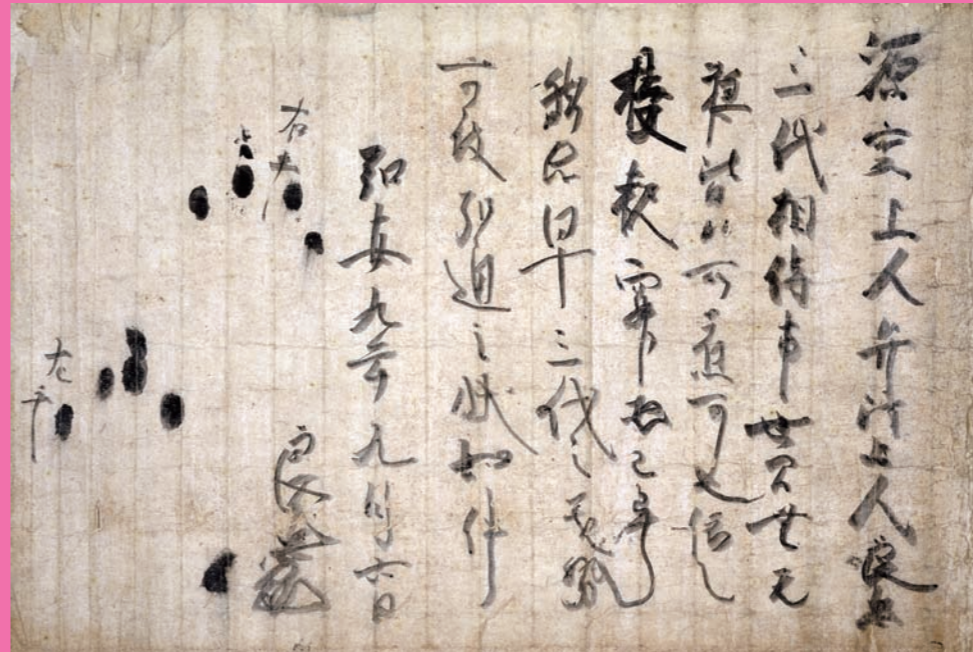
「中世文書の世界を歩く」 / 11月14日(木)
講師：阿部能久氏 鎌倉国宝館学芸員 + 当館担当学芸員
時間：13時～16時 現地 / 申込締切：10月31日(木) 必着

【高校生のための古文書講座】事前申込制 (申込多数の場合は抽選)

「歴史好き集まれ!」 11月10日(日)
※古文書を間近に見ることで歴史を再発見します。
講師：当館学芸員 / 時間：10時～12時 / 会場：当館講堂
定員：40名 / 受講料：無料 (ただし特別観覧券が必要)
申込締切：10月27日(日) 必着

【学芸員による展示解説】 申込不要

10月13日、10月20日、10月27日、11月10日、11月17日、11月24日(各日曜日)
時間：13時30分～14時30分 / 会場：特別展示室



鎌倉市指定文化財 良忠上人附法状 鎌倉時代 (鎌倉) 光明寺蔵

11月3日(日)は 無料開館日!



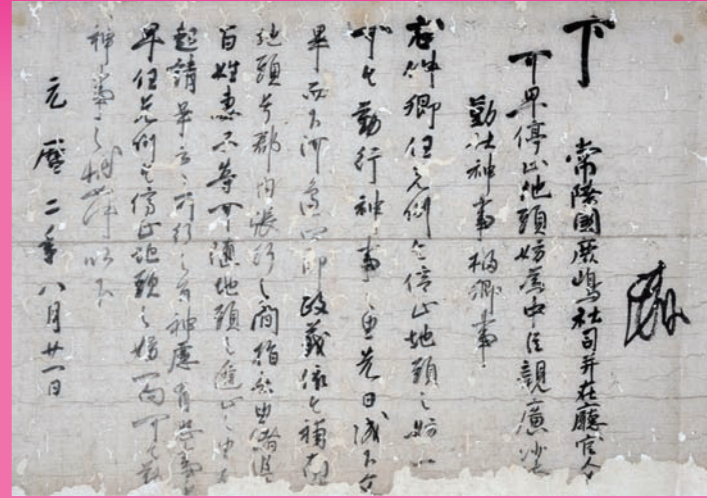
みんな博物館に くるんだワン!!

関連展示 国立歴史民俗博物館

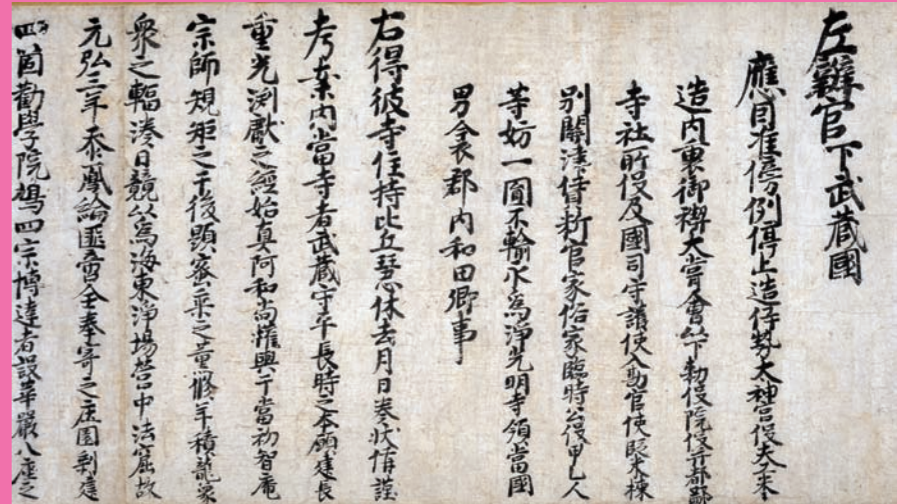
「中世の古文書ー機能と形ー」
10/8(火)～12/1(日)
〒285-8502
千葉県佐倉市城内町117
電話 043-486-0123 (代)

予告 展覧会 当館

平成25年度 かながわの遺跡展
地中に埋もれた 江戸時代の道具たち
一かながわの町と村の暮らしぶりー
2014年1/11(土)～2/23(日)



茨城県指定文化財 源頼朝袖判下文 鎌倉時代 (茨城) 鹿島大社蔵



鎌倉市指定文化財 官宣旨(部分) 南北朝時代 (鎌倉) 浄光明寺蔵

予告	特別陳列	当館
眞葛焼		
- 田邊哲人コレクションと館蔵の名品 -		
2014年1/11(土)～3/2(日)		
<p>横浜の近代を彩ったやきもの・眞葛焼の魅力、当館寄託の田邊哲人コレクションと館蔵の名品から紹介します。</p>		

みなとみらい線
「馬車道駅」5番出口から徒歩1分
市営地下鉄「関内駅」から徒歩5分
JR「桜木町駅」「関内駅」から徒歩8分



当館公認キャラクター「ばんちの守」